



平成20年5月12日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 代永 拓史
(コード番号 3803 大証ヘラクレス)
問合せ先
経営管理部ジェネラルマネージャー
片柳 依久
(TELO3-5733-5631)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、また特別損失の計上により、平成19年5月14日に業績予想を公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期通期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,250	45	45	100	11,413 円 29 銭
今回修正予想 (B)	1,115	34	39	56	6,503 円 55 銭
増減額(B)-(A)	△135	△11	△6	△44	—
増減率 %	△10.8%	△24.4%	△13.3%	△44%	—
前期実績 (平成19年3月期)	998	△112	△119	△182	△20,901 円 15 銭

2. 修正の理由

当社の通期業績予想につきまして、新規顧客の獲得は順調に推移したものの、新規事業の立上げの遅延により計画を達するに至りませんでした。そのため、売上高が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、既に発表済みの投資有価証券評価損による特別損失に加え、たな卸資産評価損を特別損失に計上することになり、当期純利益は、前回発表予想より下回る見込みとなりました。

3. 特別損失の発生とその内容

たな卸資産の評価において、一部の商品在庫につきまして簿価を切下げることにより、たな卸資産の評価減として「たな卸資産評価損」15百万円発生いたします。これに「投資有価証券評価損」26百万円を加えた約41百万円を平成20年3月期の決算において特別損失に計上することにより財務の健全性を維持します。

以上